

21. DHC洞道新設工事

施工者：清水建設株式会社

施工場所 愛知県名古屋市中村区名駅三丁目

DO-Jet工法採用理由 本工事はDN計画-JR名古屋駅新ビル間の洞道を泥濃式推進工法にて布設するもので、路線上には地下鉄建設時の残置杭や、名古屋駅ビル建設時のアースアンカーなど多数の支障物が想定されたことからDO-Jet工法支障物保険方式を採用。

DO-Jet工事時期 平成27年2月～平成27年5月

工事概要 泥濃式推進工法 呼び径φ2,000mm 掘進機外径φ2,370mm L=58.4m

DO-Jet施工内容 DO-Jet工法支障物保険方式で完了

施工条件 土質：砂層、シルト層 N値：20～40 土被り：21.5～17.9m

現場環境 地下鉄名古屋駅駅舎下を横断することや、他企業管路が輻輳しているため、支障物に遭遇した場合には地上からの対応が不可能。
また、名古屋駅前の大規模再開発中である。

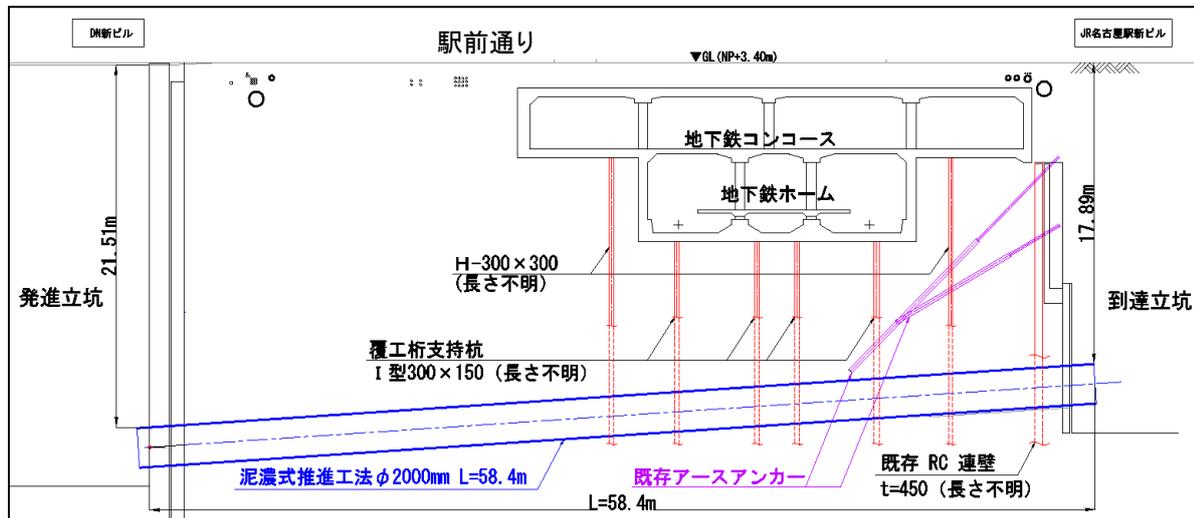


図-1 縦断面図

地下鉄名古屋駅駅舎下を横断する際に、残置されているH形鋼、I形鋼やアースアンカーなど根入れ長さが不明であり、どんな状況下でも対応可能なようにDO-Jet工法の「支障物保険方式」が採用された。DO-Jet掘進機(呼び径φ2,000)で推進を行ったが想定されていた支障物には遭遇せず、通常の推進のみで問題なく到達完了した。

